

## 【第5分科会】心に残ったキーワード一覧

【事例発表・助言より】	【地域住民の意識】
自分たちの地域は自分たちで守る	当事者意識・当事者意識は知ること
地域の資源を活かす	地域の将来図を考えるワークショップ
地域資源の楽しみ方	地域とどう向き合うか、じっくり考える
「まずは・・・！」のエネルギー	ワークショップなどの参加人数の多さ
冬、何もできないでなくできるものがある	
知恵と工夫	
3つのきょう育(郷・興・響)	
家庭、学校とは違う第3の教育の場	
次世代へ自然と共存	
当たり前の言語化	
故郷はなぜ残さなければならないのか	
子供たちに何を残したいですか	
【社会教育・公民館の役割】	【文化の継承】
社会教育→ふるさとを問い直す	繋いでいく人 バトンタッチのために
公民館は地域活性化の要	想いをつないでいく
花火を通して地域の活性化	継承・興育・郷育・響育
ネットワークの活用(小学校、公民館)	
得られる歴史・文化体験の取り組みを	
災害と社会教育	
【課題意識】	
若者のボランティア離れ・後継者不足	
組織がなくなっていく中で公民館もなくなっている	
春夏秋冬、一年中考えて集まり、それだけ集中できるか大変不安なこと(花火の効力)	
地域にある物と日常(子供たち)との解離	
無くても困らない現代、あると豊かになれる分野	
中学生のアンケート結果	
スクールバス→山が置き去りになった	
【参加者を集める工夫】	
よそ者・若者を引き込む	
大人のための勉強会	
ふるさと学校(どこに生まれるか選べない良さを学ぶ)	
絵灯籠と音楽、芸術のコラボ(松田甚次郎と共通)	
花火・イルミネーション・初詣	
ごっつお教室	
性別、年齢問わず、大人と子供が協力してやり、できる楽しみが最高。(人集めの苦労)	